

富士市のごみを考える会通信2011年6月号



発行:NPO 法人富士市のごみを考える会 2011年6月23日

お問い合わせ:富士市石坂 381-11 竹内 敏夫

Tel/fax:21-5910 mail: DZB17644@nifty.ne.jp

HP:<http://fuji.gomizero.sakura.ne.jp>

1. 収集ごみ組成分析

- ① 実施日:2011年6月10日(金)9:00~11:00
- ② 場所:環境クリーンセンターにて
- ③ 参加者:会員11名 全参加者30名
(当会、常葉大学杉山ゼミ、廃棄物対策課、消費連、)

④ 方法

燃えるごみの排出状況を確認するために、集積場所2箇所からの燃えるごみ1袋ごとに重量を測定し、内容物を12品目に分別し各々の重量を計測し確認した。

(詳しい分析は後日報告)

⑤ 感想

大変な作業だったこと、ごみ分別の意識が欠如していると切に感じた。

資源ごみが汚れてしまい生かされない状態が多い

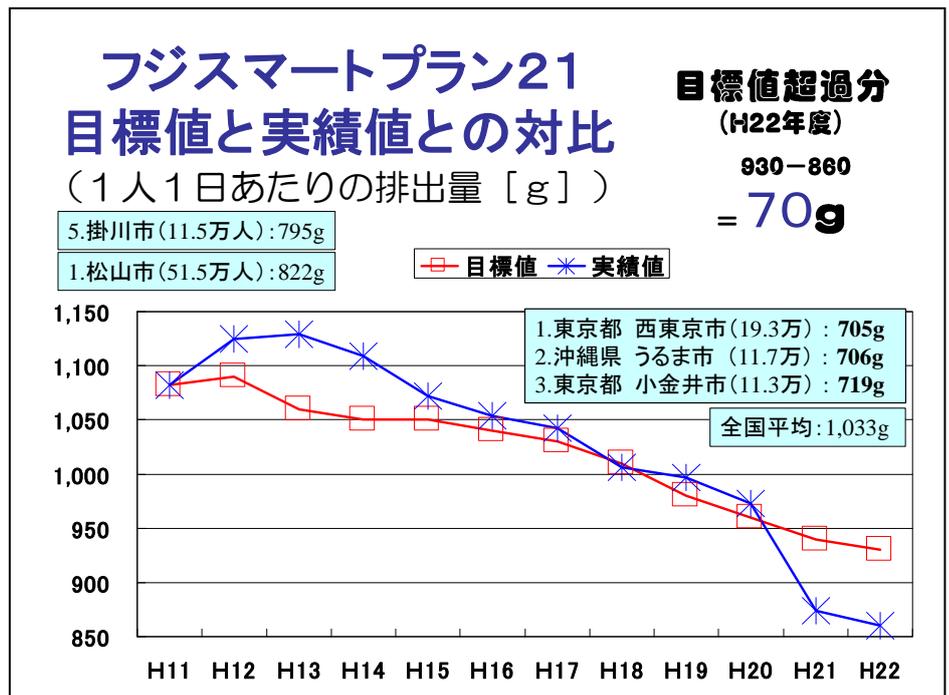


2. 富士市のごみの現状について(平成23年3月末)

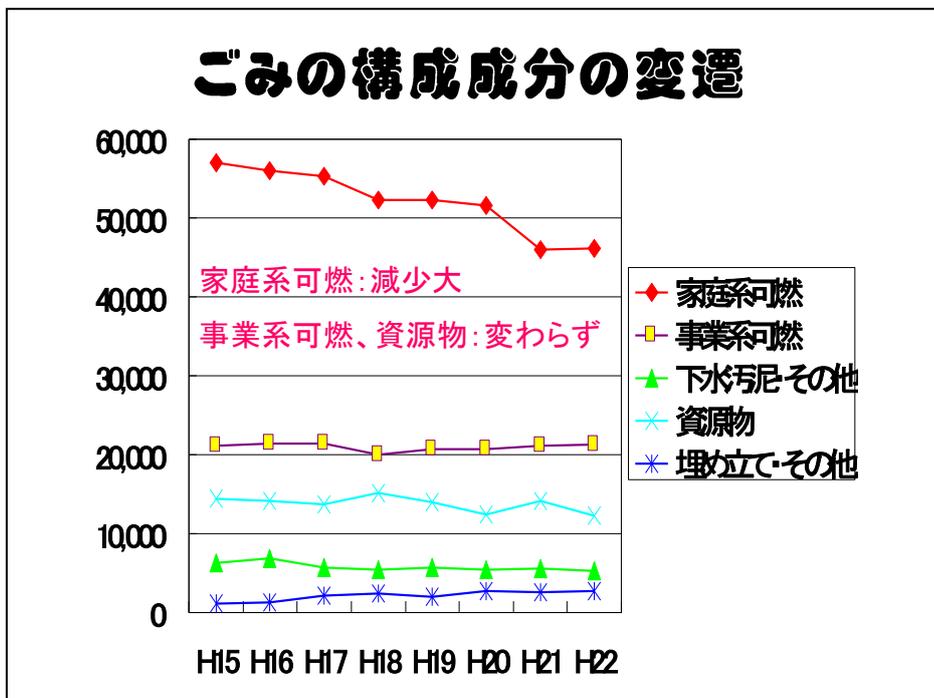
平成22年度の富士市のごみ処理状況が発表されました。過去からの変遷をまとめてみますと以下のことがいえると思います。

① ごみ処理総量

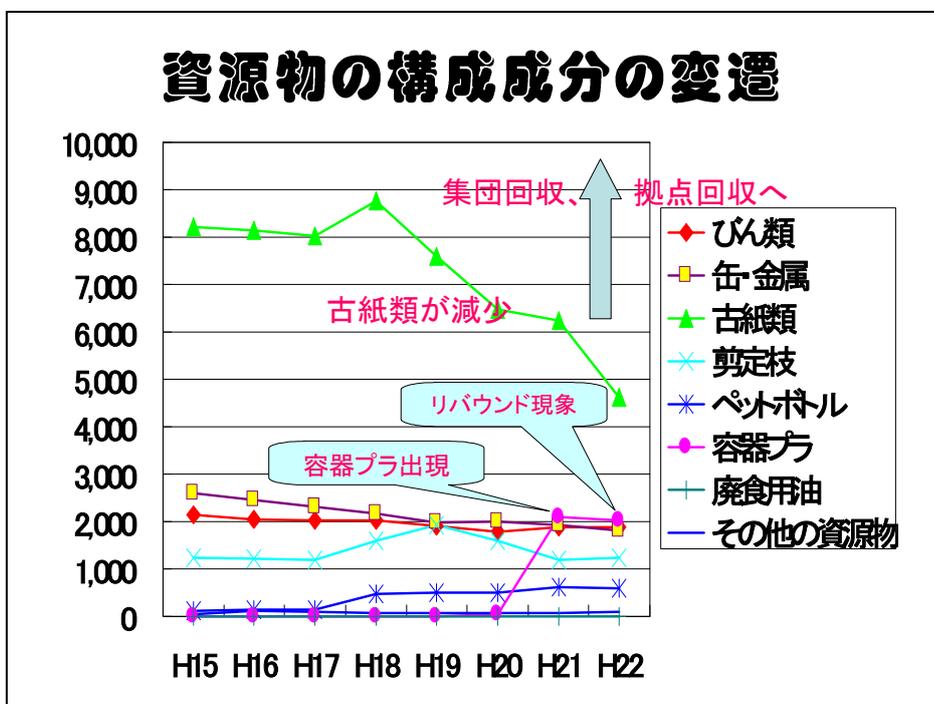
ごみの総量は減少の一途でも、もっとごみの少ないところがあるよ !!!



- ② ごみの中身は？
減少してきたのは、
家庭系可燃と
資源物



- ③ 資源物は、何が減ったの？
大きく減っているのは古紙
その他のものは大差なし
しかし、容器包装プラは、
リバウンド現象のため、増加
の傾向が認められる



- ④ それではどうしたらよいの(ごみを考える会からの提案)
1項の「収集ごみの組成分析」の結果を合わせ見ても、市民のごみの減量・分別の意欲が薄れてきている(リバウンド現象が起きている)と考えられる。
市民に「ごみの減量・分別の意欲」を継続的に持ってもらうため、官民一体となって、「ごみの出前講座」を行う必要がある。

3. これからの予定

- ① 1. 6 月 25 日(土)「富士山ごみ減量大作戦 2011」(主催:静岡県自然保護課)